

平成28年度

第7回 千葉県湾岸地域渋滞ボトルネック検討WG

日 時：平成29年2月17日（金）  
11：00～

場 所：千葉国道事務所 202会議室

議 事 次 第

1. 開 会

2. 挨拶（千葉国道事務所長）

3. 出席者の紹介

4. 議 事

（1）千葉地区の渋滞状況と対策などについて

（2）その他

5. 閉 会

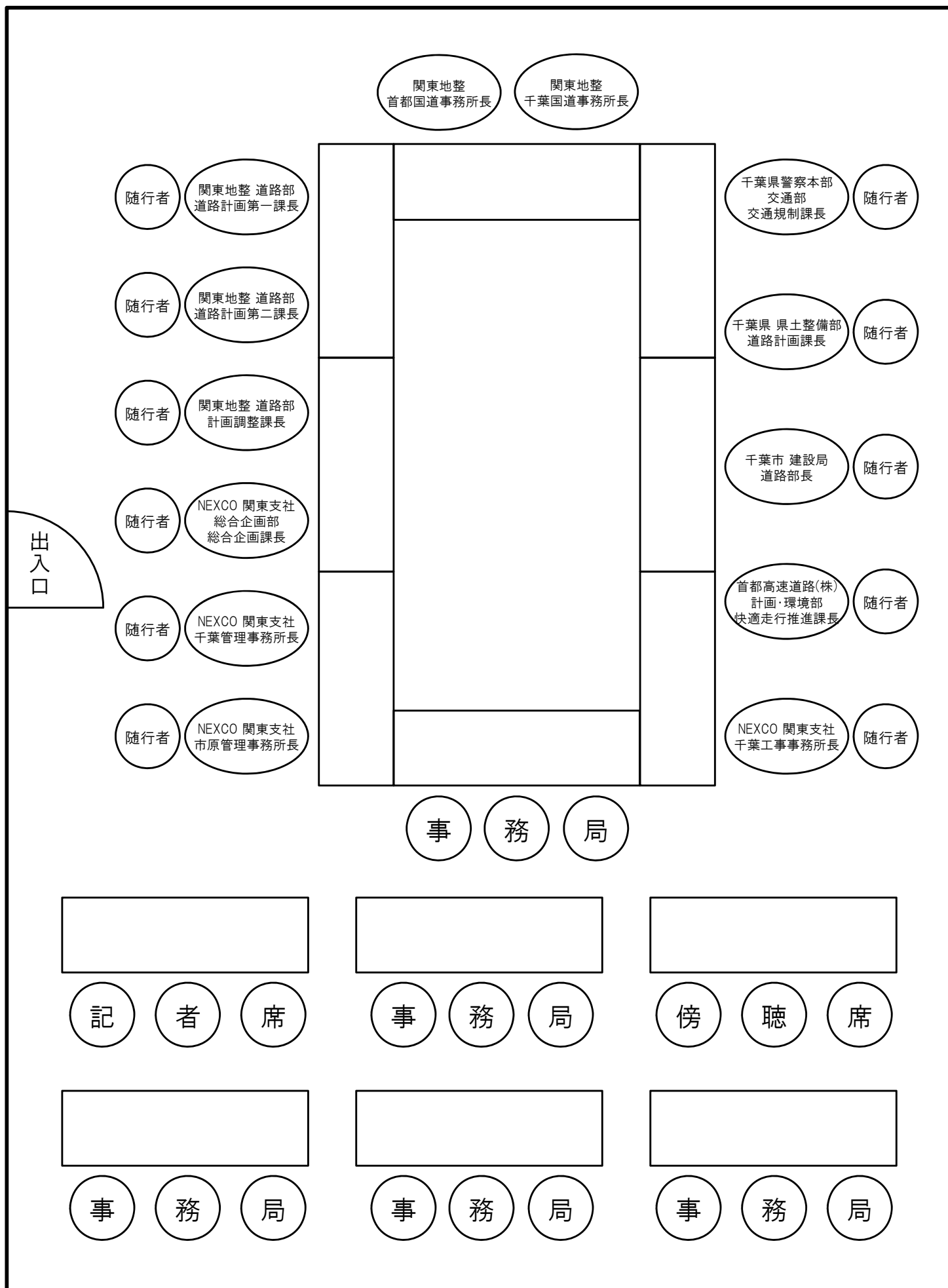
（配付資料）

千葉地区の渋滞状況と対策などについて

# 平成28年度 第7回 千葉県湾岸地域渋滞ボトルネック検討WG 座席表

場所 千葉国道事務所 202会議室

窓側



窓側



# 第7回 千葉県湾岸地域渋滞ボトルネック検討WG

---

千葉地区の渋滞状況と対策などについて

平成29年 2月17日

# 千葉地区の渋滞

首都圏渋滞ボトルネック対策協議会(H25.11公表)では、千葉地区の主要渋滞ポイントが以下のとおり示された。

○国道357号の**主要渋滞箇所**は、**千葉西警察入口～村田町交差点**間で**連担・点在**している。

○国道16号の**主要渋滞箇所**は、**穴川インター交差点**を中心に**連担し、穴川インター～村田町**間で**点在**している。





# ■国道357号千葉県区間の事業実施状況

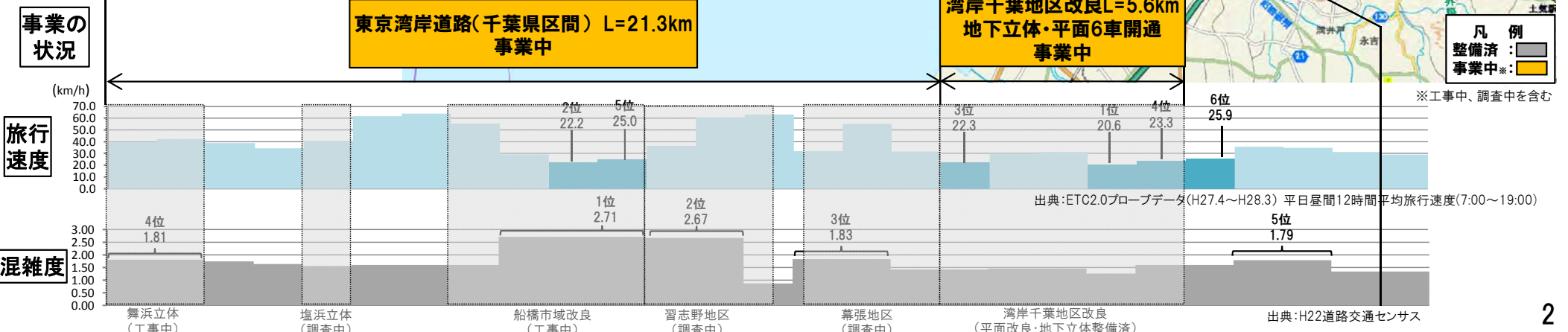
○千葉県内の国道357号では、東京湾岸道路(舞浜立体、塩浜立体、船橋市域改良等)及び湾岸千葉地区改良を実施中。  
 ○残る蘇我地区では、旅行速度第6位、混雑度第5位の区間があり、主要渋滞箇所も残存し、事業中・整備済区間を除き、**県内の国道357号においてワースト1の速度低下**が起きている。

**【凡例】**  
**事業中:** .....  
**車線状況:** 2車線 4車線 6車線以上

平日昼間12時間平均旅行速度  
 (7:00~19:00)

◎ 主要渋滞箇所

出典  
 平成25年11月公表  
 首都圏渋滞ボトルネック対策協議会より  
 平成28年7月29日開催  
 千葉県移動性向上プロジェクト委員会より



# ■国道357号千葉県区間の渋滞対策（舞浜立体）

- 主要渋滞箇所である舞浜交差点は、立体未整備区間のため、慢性的な渋滞が発生。
- 国道357号の渋滞緩和を目的に、舞浜交差点の立体化(L=0.9km)を推進中。（道路改良・橋梁下部工）

## ■舞浜立体

### 現状の課題と対応策

#### 舞浜交差点の現状



舞浜立体が整備されると...

舞浜地区へのアクセス交通

港湾物流などの通過交通

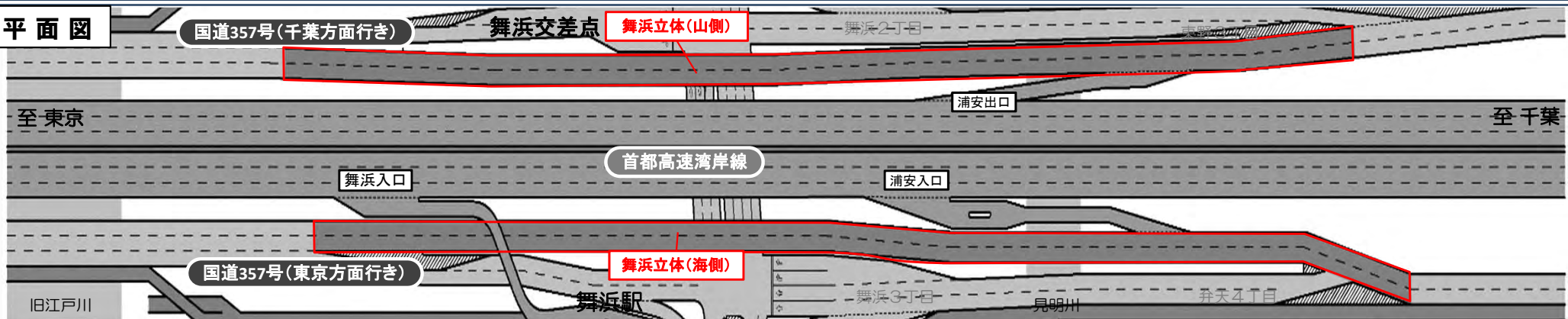
期待される効果

渋滞の解消

交通安全の向上

生活環境の改善

### 平面図



### 断面図





# ■国道357号千葉県区間の渋滞対策（船橋市域改良）

- 国道357号船橋市域は、主要渋滞箇所が連続しており、慢性的な渋滞が発生している。
- 船橋市域の連続する交差点において、右左折レーンの設置や海側の1車線拡幅の実施により、交通の円滑化を図る。（船橋市域は、調査設計及び工事等を推進中）

## ■船橋市域改良

### 現状の課題と対応策

#### 船橋市域の渋滞状況

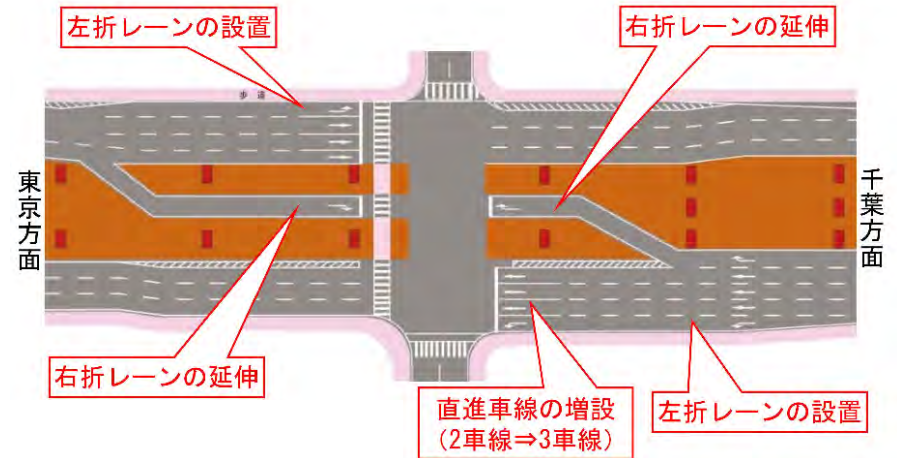


至東京  
至千葉  
浜町2丁目交差点



至千葉  
至東京  
栄町交差点

#### 対策案



### 平面図





# ■国道357号千葉地区の渋滞対策（湾岸千葉地区改良）

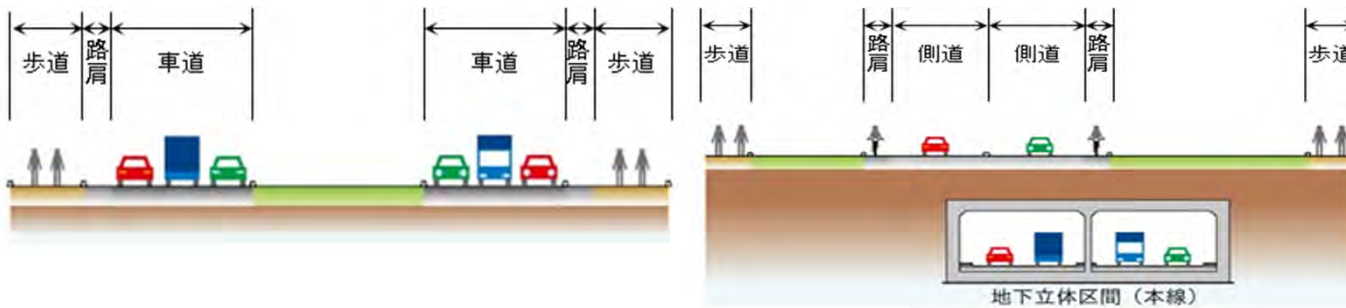
- 国道357号千葉地区は、主要渋滞箇所が連続しており、慢性的な渋滞が発生。
- 千葉西警察入口交差点～ポートアリーナ前交差点間の交通混雑緩和と沿道環境の改善を目的に、平面改良区間（L=4.0km）における車線増設（4車線→6車線）、地下立体化（L=1.6km）を実施。
- 国道357号千葉地区は、湾岸千葉地区改良（地下立体区間）が平成27年12月に開通。平成28年10月に全線開通。

## ■湾岸千葉地区改良



【平面改良区間 断面図】

【地下立体区間 断面図】



## 湾岸千葉地区の交通状況

📍 花園橋付近(平面改良区間)





# ■湾岸千葉地区改良の整備効果

- 道路利用者からは、**速達性・定時性を実感**。
- 緊急輸送が6分短縮**。また、走行ルート変更により患者の負担が軽減。
- 地下立体化・6車線化の効果は多くの方が実感されている(千葉市長ツイッターより)。

## ■利用者の声 (開通前)



出典：平成26年度東京都市圏総合都市交通体系調査 (物資流動調査) アンケート

## ■利用者の声 (開通後)

### バス事業者からの声

「接続する市道の渋滞が改善され、**運行がスムーズ**になった。」  
 「通勤において、今までは生活道路を利用していたが、国道357号の運行がスムーズになった為、**国道を利用するようになった。**」

### 臨海部工業事務所からの声

「通行がスムーズになり、**目的地まで時間通りに到着できるようになった。**」  
 「改良工事が行われ**走りやすくなった。**」

※千葉市HP

2016年11月24日のつぶやき



熊谷俊人(千葉市長) @kumagai\_chiba

フォローする

麻生財務大臣に国道357号の新規事業化の要望。ご対応頂いたことに感謝します。

昨年末に開通した地下立体化・6車線化の効果(渋滞大幅解消、緊急搬送時間短縮等)は多くの方が実感されているかと思ひます。蘇我区間が最後のボトルネックで、京葉工業地域の生産性向上にとっても重要な事業です

2016年11月24日 15:06

159 262

※千葉市長ツイッター

用する車が増えた」として、  
 12月にほぼ終了。片側2車線から3車線へ増やし、地下道整備や交差点の右折レーンを延伸するなどして渋滞緩和を図った。千葉西警察署入口交差点までの未完了区間600mは本年度中に完成する見込み。  
 市は、ポर्टアリーナ前交差点につながる国道357



6車線化で交通量は増えたが渋滞が大幅に緩和された国道357号ポर्टアリーナ前交差点付近

7号蘇我地区(6・2+4)の6車線化を新規事業化するよう昨年度から国へ要望している。

同交差点間の工事は昨年12月にほぼ終了。片側2車線から3車線へ増やし、地下道整備や交差点の右折レーンを延伸するなどして渋滞緩和を図った。千葉西警察署入口交差点までの未完了区間600mは本年度中に完成する見込み。  
 市は、ポर्टアリーナ前交差点につながる国道357

患者の負担も軽減

慢性的な 渋滞緩和 国道357号改良工事で

救急搬送6分短縮

千葉国道事務所は、国道357号の千葉西警察署入口交差点「ポर्टアリーナ前交差点間(6・6+4)の改良工事で、慢性的に起きていた渋滞が緩和され、救急車両の搬送時間が6分短縮される効果があったと発表した。

同事務所によると、6車とも4〜5分短縮され、10線化によって、通行量が最大程度になった。救急車両がポर्टアリーナ前交差点から同センター間の通過所要時間は上下線、ナ前交差点から同センター間、搬送時間が平均18分に短縮された。

市消防局への聞き取りでは搬送時間が短くなっただけでなく、走行ルート変更で急カーブや右折回数が減り、搬送患者の体への負担軽減にもつながっているという。

工事後、国道の通行量は1割増え、ドライバーが国道として使っていた国道357号は通行量が1割減った。国道の走行がスムーズになったことで車両が市道から国道に流れたとみられ、最大430台あった市道の渋滞は解消された。同事務所は「幹線機能が適切に回復したことで国道を利

※千葉日報 H28.9.25(日)朝刊

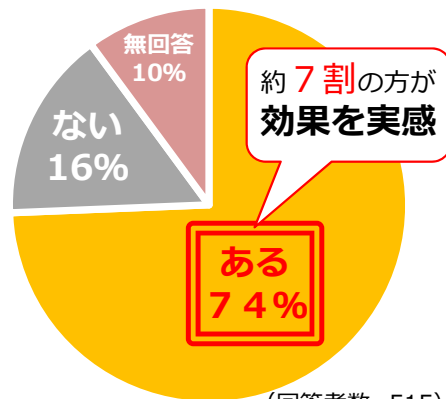
# ■湾岸千葉地区改良の整備効果

○道路利用者の**約7割の方が整備効果を実感**していると回答。

○**所要時間のばらつきが約7分(12分～19分)から約4分(9分～13分)になり約3分短縮し、時間信頼性も向上。**

○道路利用者の**約7割**の方が湾岸千葉地区改良の**開通効果を実感**。

## 【利用者の声】



## 道路利用者の声



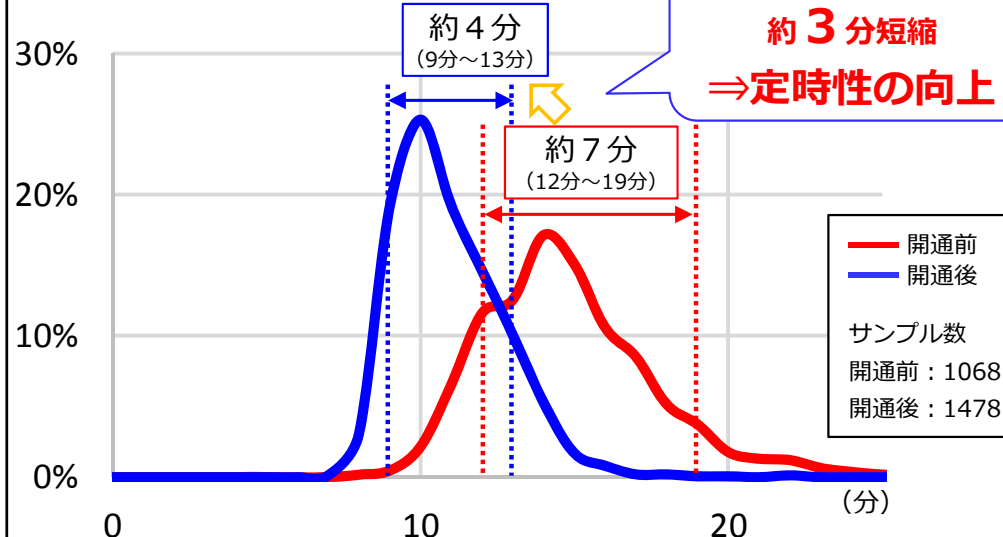
- ・以前はナビに渋滞表示があると、一本裏の海側の道路を利用していたが、渋滞表示が無くなり国道357号を利用するようになりました。時間が短縮されたので、家を出る時間もゆとりが持てるようになりました。(女性 50代)
- ・信号も少なくなり、運転中のストレスが軽減し走りやすくなりました。(男性 50代)

道路利用者アンケートより (WEB方式にてH28.12実施)

○ETC2.0プローブデータを用いた分析においても、**所要時間のばらつきが開通前、約7分(12分～19分)から開通後、約4分(9分～13分)になり約3分短縮し、時間信頼性が向上。**

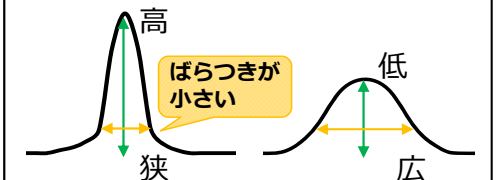
## 【国道357号の交通状況の変化】 (千葉西警察入口交差点～ポートアリーナ前交差点間)

### ■時間信頼性向上



グラフの見方：グラフの幅と高さ

狭くて高い = ばらつきが小さい → 到着時間が安定  
 広くて低い = ばらつきが大きい → 到着時間が不安定



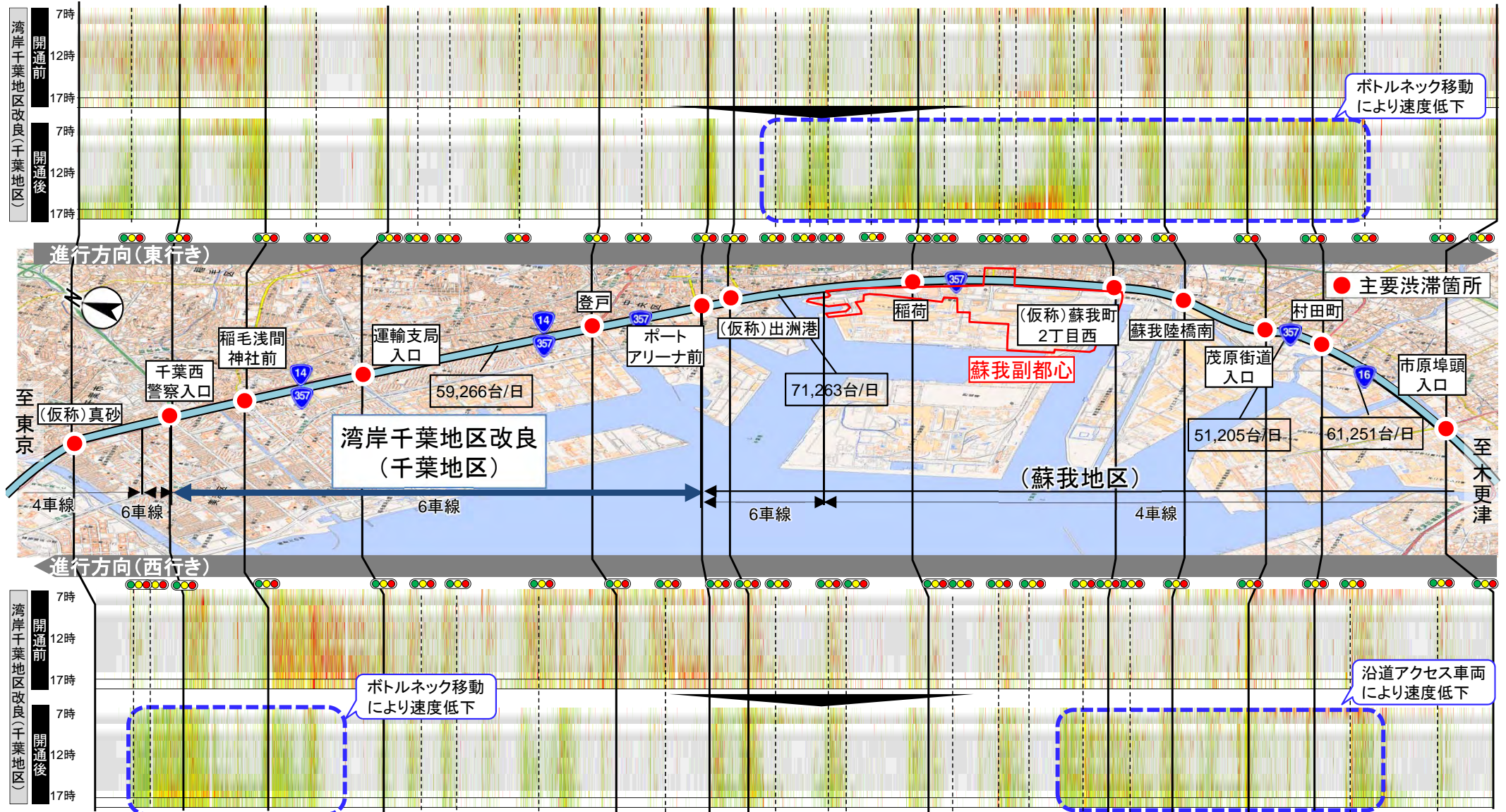
※ばらつき：上位・下位10%を除いた所要時間の差

開通前：H27年3月～11月  
 開通後：H28年3月～11月  
 出典：ETC2.0プローブデータ  
 (平日 7～8時台、17～18時台)  
 ※上下両方向のデータを使用



# ■国道357号 湾岸千葉地区周辺の速度状況（全日） H28.11月～12月（速報値）

- 平成27年5月～平成28年10月に湾岸千葉地区改良が順次完了し、開通後は改良区間の旅行速度が概ね改善。
- 千葉地区が開通し旅行速度が改善されたことから、東行き、西行きともにボトルネックの移動により速度低下が発生。
- 西行きは、蘇我副都心(大規模商業施設群)が立地しており、アクセス車両により速度が低下。



注1) ETC2.0プローブ情報を集計。開通前：(H27.3月～H27.4月) 開通後：(H28.11月～H28.12月)  
 注2) 交通量は、H22道路交通センサス値

凡例  
■  $\sim 20\text{km/h}$  ■  $20\text{km/h}\sim 30\text{km/h}$  ■  $30\text{km/h}\sim 40\text{km/h}$    $40\text{km/h}\sim$



# ■国道357号蘇我地区の開発状況（蘇我副都心の状況）

- 蘇我副都心は、千葉市の3都心の1つに位置づけられ、大規模商業施設等が集積し、年間2,000万人が来訪。
- 当地区の未利用商業用地(約8ha)の活用により、来訪者増(年間400万人)が見込まれ、更なる渋滞の悪化が懸念。

出典：千葉市ホームページ

## 蘇我副都心の状況



(注) ハーパーシティ蘇我HP現状図(2015. 10. 19)に、未利用商業用地を加筆



# ■国道357号蘇我地区の進め方について（要因と対策の方向性）

## 現状課題と要因

### ①国道357号は混雑度が高く移動性を阻害

・未事業化区間である蘇我地区は、主要渋滞箇所が連坦し、混雑度(1.79)も高く、旅行速度※の低下を招いている。

※(事業中・整備済区間を除き、県内国道357号ワースト1)

### ②湾岸千葉地区改良後ボトルネックが移動

・湾岸千葉地区改良の整備により、千葉地区は混雑が緩和したものの、蘇我地区では、渋滞箇所が連坦しているため、旅行速度が低下している。

### ③蘇我副都心の開発が進み利用者が増加する見込み

・大規模商業施設群が集積する蘇我副都心は、沿道アクセスが多く、速度低下を招いている。今後、来訪者増(年間400万人)が見込まれ、更なる混雑が懸念。



## 対策の方向性

### ①交通容量の確保

### ②物流生産性の向上



## 対策案<中期>

・国道357号蘇我地区現道拡幅



## 対策案<長期>

・東京湾岸道路(千葉地区専用部)整備



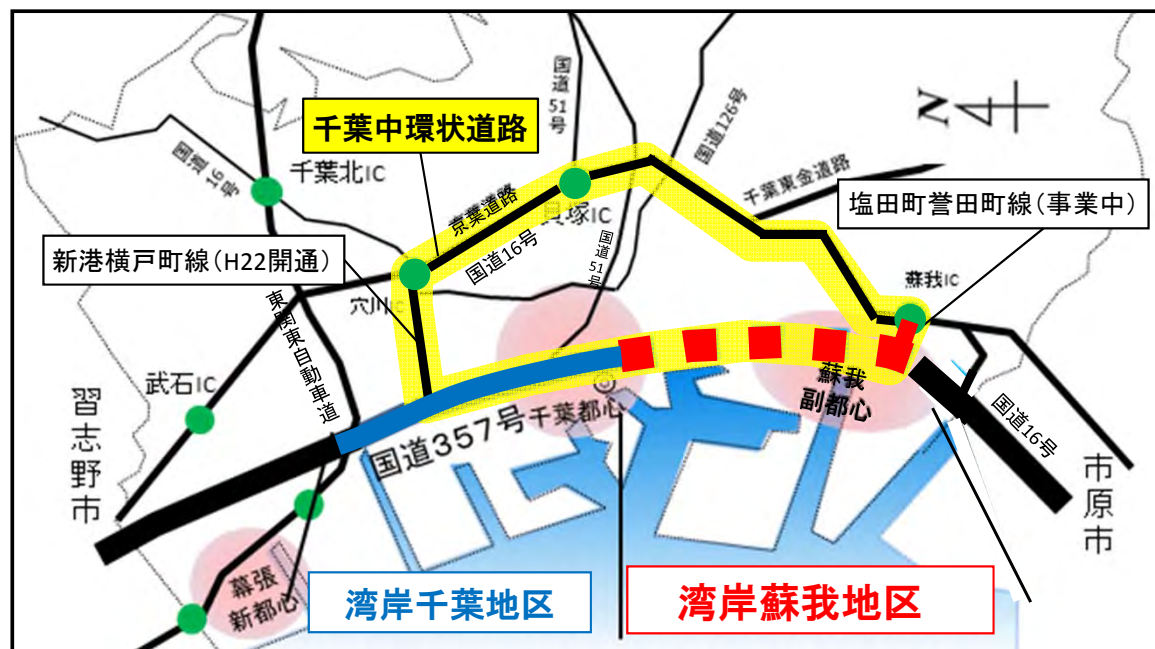
※出典：P9の全日時間帯別旅行速度集計結果(ETC2.0プローブ情報より)  
 開通前：(H27.3月～H27.4月) 開通後：(H28.11月～H28.12月)





千葉地区の課題解決のため、千葉中環状道路※1を構成する新港横戸町線（H22開通）を整備するとともに、現在、塩田町菅田町線（事業中）の整備を推進している。また、国道357号湾岸千葉地区（H27.12開通）の整備による効果が発現されている。

- 千葉中環状道路を構成する湾岸蘇我地区の渋滞対策が喫緊の課題である。
- 京葉道路は、交通の適切な分担を図る上で重要な路線であるため、引き続き、渋滞対策を推進することが必要。市としても適宜協力していく。
- 長期的には、一層の生活環境の改善や湾岸部が持つポテンシャルを十分に発揮させるため、規格の高い東京湾岸道路（千葉地区専用部）※2等、ルートや構造規格などの調査検討が必要。



※1. 千葉中環状道路:地域高規格道路(一般)計画路線

※2. 東京湾岸道路(千葉地区専用部):地域高規格道路(都市圏自専等)候補路線

## 国道357号湾岸千葉地区



## 国道357号湾岸蘇我地区

